



JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2F

災害対策本部 (03) 3351-5038 アドレス dsstsw@jaswhs.or.jp



<目次>

1. 重要なお知らせ
2. 災害支援活動協力員募集と寄付金等のお願い
3. 災害対策本部会議・ボランティア報告会の予定
4. 石巻・現地情報
5. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告
6. 現地支援活動報告
7. 現地・事務所ボランティアの感想文



1. 重要なお知らせ

石巻現地事務所に常駐のソーシャルワーカー急募！！

ボランティアのソーシャルワーカーはこれまで通り、平日3名、週末4名を募集し派遣を継続します。そのコーディネーター的役割を含む、現地活動の中心となる方です。

「平日滞在し、週末は自宅に戻る」など体制については相談可能です。

あなたの能力を、一時期でいいので災害ソーシャルワークに投入し、東北の復興に貢献していただけませんか？！

また、お近くに適任の方がいたら、ご推薦いただければ幸いです。

***詳細はホームページでご覧下さい。**

<連絡先>

災害対策本部 月～金：10:00から17:00 土：10:00～12:00

TEL：03-3351-5038 FAX：03-5366-1058 Mail：dsstsw@jaswhs.or.jp

担当：日本医療社会福祉協会 事務局長 中川

日本医療社会福祉協会 災害対策本部 一原 取出

2. 災害支援活動協力員募集と寄付金等のお願い

① 支援活動協力員登録人数（11月17日（木）現在）

- ・ 現地支援活動協力員 : 182名（参加者延べ人数：846名）
- ・ 事務所支援活動協力員 : 92名（参加者延べ人数：465名）

皆様お忙しい中のご参加で人員が不足しております。ご協力頂ける方は下記までご連絡下さい。

災害対策本部（03-3351-5038 又は dsstsw@jaswhs.or.jp） 平日・土・祝 10～17時

※メールでご連絡の際は、件名に「(現地)または(事務所) 災害支援活動協力員希望」とご記載下さい。当会ホームページに[現地ボランティア応募フォーマット](#)が掲載されています。

11月のボランティアカレンダー

(11月17日現在)

日付	事務所	現地	日付	事務所	現地	日付	事務所	現地
1[Tue]	○	○	11[Fri]	1	2	21[Mon]	1	2
2[Wed]	1	○	12[Sat]	1	○	22[Tue]	2	2
3[Thu]	1	○	13[Sun]	休	○	23[Wed]	1	○
4[Fri]	1	○	14[Mon]	1	○	24[Thu]	1	○
5[Sat]	○	2	15[Tue]	1	2	25[Fri]	1	○
6[Sun]	休	2	16[Wed]	1	2	26[Sat]	1	○
7[Mon]	1	○	17[Thu]	1	1	27[Sun]	休	○
8[Tue]	1	○	18[Fri]	1	○	28[Mon]	1	1
9[Wed]	1	1	19[Sat]	1	1	29[Tue]	○	1
10[Thu]	○	1	20[Sun]	休	1	30[Wed]	○	2

*数字は必要な人数・○は足りていることを表す。

② 寄付金の振込口座：郵便振込口座

皆様の協力をお願い申し上げます。

口座名義 : 日本MSW協会災害支援金

口座番号 : 00100-1-89515

支店名 : ○一九(ゼロイチキユウ)店(019)

口座種別 : 当座

※他の金融機関からお振り込みいただく場合には下記のようにお願いします。

ゆうちょ銀行 口座種別 : 当座預金 支店 : ○一九(読み方:ゼロいちきゅう)店

口座番号 : 89515

備考 : お振り込みいただく金額に制限はございません。

ご自分のお名前とご連絡先をご記入ください。

お振込手数料は、各自でご負担ください。

*寄付の用途は、当協会の行う東日本大震災災害救援活動に使うことが決定しています。

③ 活動内容の掲載について

石巻以外の地域で活動している方や被災者を受け入れている機関などの活動を本紙に掲載したいと思います。ご協力いただける方は[災害対策本部](#)までご連絡ください。

3. 災害対策本部会議・ボランティア報告会の予定

災害対策本部会議：12月1日（木）

本部のメンバーで今後の方針等を話し合います。決定したことは皆様にご報告させていただきます。

ボランティア報告会：12月13日（火）19:00～

9月まで現地責任者として活動された草水美代子氏と、10月・11月に活動されている佐藤杏氏より、それぞれの活動を総括して報告していただきます。

これから参加を考えている方、関心のある方は、ぜひご参加下さい。

また、最近参加され活動報告をして頂ける方がいらっしゃいましたらぜひお越し下さい。

12月6日（火）までに災害対策本部までメールか電話でお申し込み下さい。

準備の都合上、今回から申込制とさせていただきます。

4. 石巻・現地情報



① 石巻での活動内容 ※状況によって内容変わります。

- ・ 仮設住宅の巡回及び入居者の相談支援
- ・ 遊楽館を退所した方のフォローアップ
- ・ 地域の保健医療福祉機関のニーズ把握と対応
- ・ 福祉関係職種との連携と協働（カンファレンス等）
- ・ 経過サマリー作成業務
- ・ 在宅医療を担う医療機関との連携
- ・ 茶話会（医療福祉・生活相談会）の開催及び準備

② 宿泊場所 *11月中に石巻市内に移転予定となっています。

大崎市古川の2LDK マンション。

*JR 東北新幹線 陸羽東線 古川駅より徒歩約9分

③ 現地移動車両

ガリバーインターナショナル社様のご厚意により、当会へ自動車を1台貸与していただいています（保険や車検関係はガリバー社が負担してくださっています）。

現地ボランティアの皆様の足としてご利用いただけます。

車種：トヨタ「イスト」 ナンバー「野田 501 ち 3967」 銀色

④ 携帯電話

ソフトバンク様より、当会へ20台の災害用電話の無料貸し出しをしていただいています。

7月1日より、現地および、協会本部はソフトバンクの携帯電話を利用しています。

5. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告

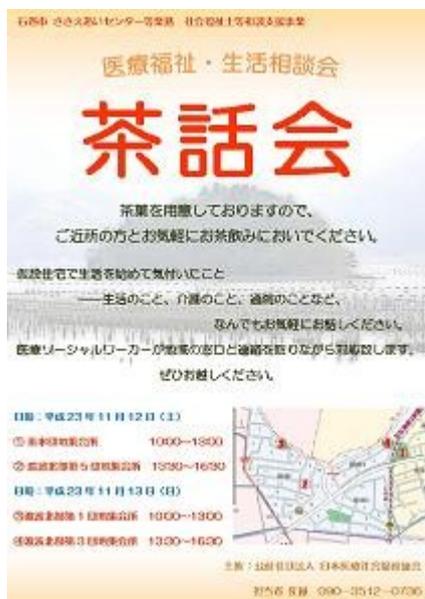
現地担当者 佐藤 杏

11月12日・13日に6回目の仮設住宅における医療福祉相談会を実施しました。

今回は2日間で4か所を回るという初めての試みでした。

この地区では、すでにコミュニティができており、互いに助け合っている様子が見受けられました。来室も声を掛け合ってきていただいたそうです。洗濯物の取り込みや救援物資の配給など、小さい団地でお互いの顔を知りあっている印象でした。リーダー的役割を担う住民の存在と元々同じ地区の住民が多くいることが、大きな力となっているように感じます。

今回は、住民同士のお茶飲みに私たちが混ぜて頂いた形になりました。一部では、顔を知り合っている方も名前を知らない方もいたので、交流の促進になったと思います。又、震災時の様子については、同じ住民同士では核心に触れる話題を避けることもあるのか、お互いに「そうだったの」と、時に声を震わせながら時に笑いを交えながら語りあっていました。第三者である私たちが入ることで私たちへ伝える為に話してくれていることと、それを話しても大丈夫というピアなサポートがある場であることの効果だと思いました。SWはそこで「聴く」ということが大切な役割だと感じました。



配布したチラシ&ポスター



茶話会の様子



茶話会の様子



茶話会の様子

6. 現地支援活動報告

和久田晴久（聖隷浜松病院）

期間：10月29日～11月1日

今回初めて現地ボランティアに参加させていただきました。参加するまでに協会のホームページの災害支援ニュースなどを読み、どのような活動になるのかイメージをしてはいましたが、現地の状況がわからない自分が行って役に立つのか、不安もありながらの参加でした。活動の主な内容としては、週末に仮設住宅に併設された「ささえあい拠点センター」での相談会を行い、平日にはその準備や関係機関との調整などを行なうというものでした。相談会は、単に当協会単独で行なっているというのではなく、現地で他に活動をしている他機関・他職種と関係をつくり、役割分担をしながら行なうことを目指しています。現地で長期に活動をしてくださっている佐藤さんが、その関係構築に非常に努力されていました。被災された地区の状況や、あまりにも数が多く、立地条件も様々な仮設住宅の状況を見ると、様々な団体が、長期的に支援に関わる必要性を強く感じました。数日間のボランティアで、個人的には大したことはできなかったかもしれませんが、行ってみて非常に良かったと感じています。また機会があれば参加したいと思います。

草水 美代子（西片医療福祉研究会）

期間：11月6日～11月8日

仮設住宅では、住民同士の交流がなかなか進んでいないところも多く、茶話会でさり気ない交流の場を提供することが、出会いや情報交換の場になると思いました。茶話会を通じて、コミュニティ形成の「きっかけづくり」をする役割の重要性を感じました。ソーシャルワーカーは、参加者のナラティブを促しながら、ブローカーやメディエーターとしての機能を果たしています。①住民自らが社会資源であるということ意識しながら、住民と住民をつなぐ ②住民に届いていない有用な情報を提供する。③住民が生活課題に自ら取り組めるように、資源の活用を促す。④仮設住宅における住民のニーズを仮設住宅運営管理室に伝え、協議する。これらの活動が、深刻な人手不足に直面している被災地の保健医療福祉システムの復興の下支えとなっていることを願います。また、現地の専門家との交流の機会を得ました。古川市穂波の郷クリニックのSW大石さんと出会い、活動を伺っているうちに、こちらが、勇気づけられました。もっと早くお会いしたかったという思いが湧きました。大石さんとの対話で、津波と地震による影響は、津波被害を受けていない被災地においても深刻であることが分かりました。大石さんたちは、ご自身たちも被災しながら、気仙沼市大島への支援活動を継続されています。また、クリニックとして独自の心理劇を取り入れた子供等への防災教育活動を行っておられます。人間存在への深い洞察による実践活動に感銘を受けました。最後に、佐藤さんと行動を共にして、地域の方々と丁寧に関係を構築しておられることがわかりました。現地のニーズに沿った後方支援活動をするには、常駐者の存在が鍵となることも実感しました。

児玉 照光（亀田総合病院）

期間：11月6日～11月10日

毎回、来るたびに新たな人や関係団体と知り合えることに感動を覚え、人の繋がりが大切と感じます。また、遊楽館で知り合えた方と再会することに喜びを感じ、また来たいと思います。

町中は津波がきたことを感じませんが、渡波地区など津波の影響を直接受けた地区等とのギャップを感じて風化させないことが大事だと思いました。

左右田 哲（北里大学病院）

期間：11月12日～11月13日

四カ所の仮設住宅（渡波地区）で、四名のメンバーとともに活動させて頂きました。住宅群それぞれにおいて文化や人間関係が形成されていることに強い印象を受けました。「孤立してしまうのはどういうところなのかな」と意識したつもりですが、所詮、自分の経験値でしか測れないことですから、限界があります。その中で何が出来るか、関われるか、少しでも力になれば良いな、と考えたつもりでした。しかし、多くの方々の衝撃的な経験と、語りと、生きていく力に圧倒されました。

圧倒されてばかりでは何をしに来たのかわかりませんから、反芻し次の活動に活かしていきたい、と活動終了した時点で感じています。

7. 現地・事務所ボランティア感想文

現地・事務所ボランティアの思いや業務のことなど・・・一読ください。

～現地から～

11月7日（月）

今日は、10月以降初めてボランティアが分かれて活動しました。草水さん、児玉さんは大先輩で、早くから石巻での支援にあたっておられていたので、安心して仕事をお願いしてしまいました。

明日も、午前中は、業務を分担して取り組みます。SWが地域で活動していくにあたっては、業務分担は自然な流れだと思います。

P C A Tからの介入依頼のように、個別相談が増えてくることを想定すると、平日にも2～3名の活動者が欲しいです。

11月8日（火）

昨日に続き、今日も大橋団地の住民の訪問相談が続ききました。

病によって医療機関という場所で、さまざまな生活課題が顕在化してくる以上に、今回の震災で、日常押し沈めていた色々な問題があがってくることも相談支援に携わる者として覚悟して臨まなければならないことを改めて感じました。

茶話会/相談会の流れとともに、個別ケース対応時のルール化・資料も早急に整えていきたいと思います。

11月9日（水）

夕方6時に河南町を通った時にはすでに、6℃でした。海側よりも冷えているのでしょうか、山側は早くも冬の様相です。地元の方でも、日中と朝晩の寒暖差で風邪をひいておられる方がいます。

インフルエンザ予防接種が始まりました。今まで医療機関に勤め、インフルエンザ予防接種も自然な流れで受けられていたことに、感謝する毎日です。

11月10日（木）

今朝は普段よりも出る時間が早かったせいか、7:30の時点で、車のフロントガラスが凍っていました！涌谷のあたりで外気は3℃！！今季一番の冷え込みだったそうです（夕方のラジオ情報）。

寒いと感じて当然だな～と思いつつ、空気が澄んでいて気持ちよく感じます。（一瞬ですけど・・・）日中は14℃でしたが、車の中にいる限りでは日差しが強くて恐ろしいです。女性は、日焼け止めも必須です。

11月11日（金）

本日は雨で、日中でも9℃でした。

宮城県協会の庄司会長様のところへ出向きましたが、高速道路から見る山々の紅葉・・・日本独特の色彩で綺麗でした。道路は今もガタガタでした。

庄司会長も落ち着かない毎日をお過ごしようですが、穏やかに話をしてくださいました。

情報交換をしながら全国組織の協会としての支援のあり方を検討していきます。

11月12日（土）

本日は、昨日とは打って変わり、日中は暖かな日でした。しかし、夕方にはとても寒くなってきました。今週末は初めて、2日間とも午前午後別の仮設住宅での茶話会/相談会を試みています。午前中は、団地住民の芋煮会との合同の茶話会/相談会・・・「相談」というかたちではありませんでしたが、おいしいお昼ご飯までご馳走になり、贅沢な会でした。午後は、打って変わって、お1人の参加のみで隣人との交流も無く、だれが住んでいるのかもよくわからないと嘆いておられました。明日も続きますが、小規模仮設住宅への支援はやはり重点的に行う必要があります。又、定期的に支援を行う地区を定めることも一つの方法として有効だと思います。

11月13日（日）

今日は、午前午後ともに、住民の方々に加えてPEACEBOATの方の参加がありました。それぞれの団地のコミュニティが出来上がる過程が違うという事実が印象的でした。

午前の会が終わったところで、鍵の管理をしている方から「ご飯食べて行って!」とお声かけいただき、お言葉に甘えました。いくら丼・ボイルいか・具だくさんのお味噌汁・柿・・・とてもおいしかったです。

ありがとうございました!

～事務所から～

11月7日(月)

田玉(初台リハビリテーション病院)

事務所ボランティアの仕事内容も少しずつ変わってきて、支援が新たな段階に移っているのだなと感じています。これからもよりよい支援ができるよう、少しでもお力になればと思います。ボランティアの方からご意見いただきありがたく思います。これからもよろしく願います。

11月8日(火)

一原(自宅)

最近皆さん1人で入って下さることが多くなっているので、事務所内の情報共有をもっとうまくできるよう回覧板なるものを作ってみました。うまく機能することを願います。

11月9日(水)

市川(初台リハビリテーション病院)

約2ヶ月ぶりに事務所ボランティアに参加しました。以前よりもボランティアの業務が整理されていたり、事務所が綺麗になっていたり・・・びっくりするとともにこれまで繋いでこられた方々の支援の素晴らしさに感動しました。そのため、色々と読み込んでいるうちにあっという間に時間が過ぎてしまい、仕事はあまりはかどらなかったかも・・・しれません。

11月10日(木)

一原(自宅)

今日は2人も来客がありました。1人は東京都協会長の武山さん、もう1人は5月に北海道から現地に参加された佐々木さんです。お2人とも、お仕事の違いで立ち寄ってくださいました。たくさんお話を

聞かせていただいたり、逆にこちらの話聞いていただいたり・・・とても嬉しかったです。

皆さんも気軽に事務所に遊びに来てくださいね!

11月12日(土)

笹川(初台リハビリテーション病院)

他のメンバーの仕事の都合で急遽来させて頂きました。ちょうど一週間前に入ったばかりだったので、とてもキャッチアップしやすかったです。使い慣れない Microsoft2007 もだいぶ慣れてきました(笑)。新しい機能の発見が楽しいです。